

当院における身体的拘束最小化への取り組みについて

当院は、患者さんの尊厳と安全を守るため、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束は原則行いません。

基本姿勢

- ・身体的拘束は「最後の手段」とし、回避・軽減・代替を最優先に検討します。
- ・身体的拘束が必要となった場合も、最小限の期間で解除できるよう努めます。

身体的拘束最小化チームの活動

- ・多職種（医師・看護師・セラピスト等）によるラウンド
- ・身体的拘束の必要性を検討するカンファレンス
- ・3要件（切迫性・非代替性・一時性）の厳格な確認
- ・拘束による影響の評価と解除に向けた検討
- ・実施状況の記録と職員への周知

患者さん・ご家族への説明

身体的拘束について丁寧に説明し、意向を伺います。

患者さんが安心して療養できる環境づくりのため、当院は今後も身体的拘束の最小化に取り組み続けます。

当院の地域包括ケア病棟の身体的拘束率 R8年9月1日現在

R8年2月～4月	R8年5月～7月
0.2%	0.7%